国民年金について

「えらい変つたもんよ、うばすて山といはれた年寄りに今では小使銭をくれるきにノウ」この春証書片手ににつこりと市役所を出てゆく老人。これは昨年十一月から始つた老令年金での一コマで、このほか障害及び母子福祉年金とゝもに無拠出の福祉年金となつています。国民年金制度は年をとつたり、身体障害になつたり、あるいは一家の柱である夫が死亡して幼児をかゝえ、母子家庭となつたりしたときに年金がもらえ、生活が保障される制度です。年金は拠出制を基本とし、無拠出を併用している。

拠出制というのは老令や身体障害、あるいは母子家庭になる前に、あらかじめ保険料なり掛金なりを払込でおいて、そのような事故がおきたときに払い込だ保険料や掛金の額に応じて年金を受けることができます。戦後国民の平均寿命が延び総人口に対する老令者人口の割合が著しく増加し、かりに六十五才以上を老令者とすれば、五百二十万になり、総人口の五・六%に当ります。現在の割合で昭和四十年になると六百十一万人、六・三%をしめることになり、このように人口老令化の現象とともに、家族制度の崩壊という事実によつて、親族扶養の観念が薄くなり、また大半の若者は妻子の扶養がせいぜいで、経済的な余裕が少ないので老人は自分で自分の生活を考えてゆかねばならない立場となり、国も社会保障制度の一環として考えてゆかねばならなくなり、諸外国にならつて実施されることになつたものです。

拠出制年金の適用対象、つまり被保険者になる人は、二十才から五十九才までの者で、厚生年金保険や恩給など既存の公的年金制度に入つている人や、それらの制度からすでに年金を受けている人は除外され、その人たちの配偶者は任意適用とされています。したがつて農民や自営業者あるいは零細企業の被用者の人たちや、家庭の主婦の人たちが対象になるわけです。たゞし制度発足当時五十五才をこえている人は、たとえ六十五才まで保険料を納付しても年金を受けることができませんので、拠出制年金からは除外されている。五十才から五十四才までの人は、希望により拠出制年金を受けることができるよう任意加入ができます。

保険料の額は、二十才から三十四才までは月額百円、三十五才から五十九才までは月額百五十円です。たゞし、生活保護を受けているとか、保険料を負担する能力の乏しいと認められる人は免除されることになつています。次に年金給付ですが、拠出制には老令、障害母子、遺児、寡婦の五種類のものがありますが、老令年金は保険料を二十五年以上納付した者に対し年に二万四千円から四万二千円までの年金が支給されます。制度発足当時一定年令をこえていて二十五年以上保険料を納付する期間がない者については、その者の年令に応じてこの期間を十年内至二十四年に短縮されます。障害年金は、一定期間（最低三年以上）保険料を納付した人が国民年金法に定める一級（両手または両足がない程度）または二級（片手または片足がない程度）の障害になつたときに支給され、その額は、保険料納付期間に応じ二万四千円から二千円までの額です。たゞし。障害の程度が一級であるときは、六千円が加算されます。

次に母子年金ですが、同じく一定期間保険料を納付した人が夫と死別し、十八才未満の子に支給され、その額は七千二百円から一万五百円まで（第二子以降の子一人につき四千八百円加算）です。寡婦年金は婚姻期間十年以上の妻が、老令年金を受けるに必要な保険料を納付した夫と死別したときに、六十才から六十五才まで、夫の受けるべきであつた老令年金の半額が支給されます。

最後に拠出制年金についての国庫負担ですが、国は毎年度の保険料収入総額の二分の一を負担し、これが財政運営方式は積立式をとつています。積立式とは、保険料および国庫負担金を積立ておき、その積立金と積立金の運用によつて生じる利子により将来の年金給付をまかなう方式のことです。拠出制年金は、本年十月から被保険者の届出を開始し、これらの人に国民年金手帳を交付し、来年四月から保険料を徴収します。以上は拠出制年金のあらすじです。

昨年十月に発足した南国市もはや一ケ年を経過せんとしています。この間、各種団体ならびに市民のみなさまの絶大なる御協力と御援助により、市の基礎を礎くよう努力しております。

本市発足当初からの財政事情は、旧町村における一時借入金、八千七百万円と市に引継いだ事業繰越等を含め現在一億円余りに及ぶ才入欠かんが生じ、このほど財政診断を行い、これが分析をした結果長期に亘る財政再建を計ることに決め、議会に財政調査特別委員会を設置し、執行部とともに再建計画の査定にあたつています。

三十四年度の総赤字額は、実質一億一千三百五十五万一千円に達していて、この赤字額は、三十四年度の基準財政収入額の七分の十と普通交付税の合算額の八十五・五%に当るもので、換算すれば上記の一般財源の、十%ずつ毎年赤字解消

市の財政再建計画に協力を

市長　西村盛之

にあてるとして約九ケ年を要し、市の財政にとつては相当過大な負担となります。ついては次のような点に重点をおき再建を計る覚悟であります。

(1)機構の整備改革による人員整理等、人件費の節減

(2)物件費を標準団体の基準をもとにして節減

(3)法令によらざる寄附金負担金、補助金等の抑制による節減

(4)各種事業の重点的な計画化

赤字の要素中とくに人件費は標準規模を超過していることを県より指摘せられたが、職員の構成を見るに七十才以上が五名、六十才―六十九才が十九名、五十五才―五十九才が二十三名、計四十七名で高令高給職員が他の市町村に比しかなり多いことであり、さきに新市町村建設促進法による優遇措置の条例を設定し、これらの高令高給者の退職を優遇することとし、社会通念と言うか、企業団体または、県及び他市町村にて実施した例を勘案し、五十六才を対象に勧奨し、人事の若返りをはかり、行政事務の万全を図りたいと考えております。

これらの退職対象者には情において誠にしのび難いものがありますが、御一考願い、一般市民のみなさまも市の現状を御了察下さつて南国市財政再建に御協力をお願いする次第であります。

ゆたかな経営に そ菜の、電熱育苗

適湿が長期にわたつて得られる電熱温床の特長を育苗や栽培にうまく活用すれば経済的に十分採算がとれ、豊かな農業経営ができる。そ菜の軟化促成栽培をはじめ、水稲の育苗、そ菜の育苗、バレイショの催芽、さし木育苗、花キ栽培など初冬から晩春までの長期栽培が多角的にできる。

これはいままでの経営にくらべてはるかに妙味のある経済的な経営となり、農業の多角経営に大きな力になる。

電熱温床の特長

好みの温度に調節でき、悪いガスや水蒸気がでない。また夜冷育苗が手軽にでき苗が丈夫である。

電熱温床の種類と構造

（醗熱折衷式）電熱式の温床ケーブルと、醗熱踏み込みとの折衷式で、適度の湿度がたもて、カン水労力が少くてすむ。

（高設式）まわりの囲いから熱が逃げ、床の温度が低くなるきらいがある。

温暖で排水不良のところ以外は適当でない。

（電熱式）電熱温床線を使つて温度をとる方法。乾燥しやすいから、カン水を十分しなくてはならない。

（低設式）保温はよいが、労力がをくかかり、雨降りには水が入りやすく排水不良になりがち。

水稲の場合にはこの方法が多く使われる。

（半低設式）高設式と低設式の中間の特長を持ち、利用範囲が広い。

ワク（枠）＝木ワク、コンクリートワク、ワラ囲いなどでよいが、保温その他の点から木ワクがよい。厚さ三センチくらいの板が適当。勾配をもつた片屋根式にすると便利。

障子＝ガラス障子、油障子ビニール障子などがある。ビニールの透明なものは紫外線をよく通して日中温度が高くなり、日焼けを起すことがあるから換気に注意がいる。

温床線＝これが温床をあたためる熱源で温度は六〇度Cまで上がるが坪当りのワット数をかえることによつて好みの床温がとれる。

また温度調節器をつければ温度の管理が楽になる。

（坪当り電力は外温によつて違うが、二月播きで二五〇ワット、三月播きで一五〇ワットが適当。

電熱温床の作り方

場所は南向きで陽当りのよいところ。

北風が入らず、電気の取り入れやすいところ。またカン水が便利で風通しよく、管理がしやすくジメジメしないところ。

構造と位置が決まつたら囲りに排水溝を掘り、温床ワクの外側に土を盛つて排水をよくする。

温床の底は平に掘り、保温のため九センチくらいモミ殻やワラを敷く。その上に無肥土を約三センチほど入れる。

温床線は中央は荒く、外側になるほどこまかく張る。折返しのところは細い丸太でつくつた支持杭を打ち込んで止める。

線が余つてもクイにぐるぐる巻いたりすると、その部分だけ温度が上り故障の原因になるから必ず地中に埋めねばならない。

線が張れたら、動かないように注意しながら無肥土を約三センチくらい入れる。

種まき

竹や木片などで浅いミゾをつくり、定めの間隔をおいてまく。

終つたら種子がかくれる程度に浅く土をかけ、十分カン水する。

発芽までは障子をしめ、床土が乾燥せぬようにする。

発芽したらスイッチを切つて、日中はつとめて光線にあて徒長を防ぐ。

定植の数日前から夜間も障子をとつて、外気に十分ならし、移植は晴天の日中を選んで移植床に十分カン水をして根をいためないようにする。

× ×

有利な副業　マッシュルーム栽培

五年前、長岡地区で始められたマッシュルーム（西洋マツタケ）の栽培はすでに軌道に乗り、土佐マッシュルーム生産組合も組織された。

この栽培は葉タバコ乾燥場のあいているときを利用して行なうもので、一棟で十五坪の栽培面積がとれる。この面積で約四二〇キロ生産すると価格A級三七・五キロが五百十三円、B級同三百六十円だから四万―四万五千円の収入となる。

なお加工用として契約栽培されるので価格は安定している。

栽培希望者は組合または、高知市鴨部、高知街詰会社へ連絡すればよい。

欲しい婦人の果樹熱

岡豊町　島崎雪子

米作も曲り角に来たという今日、農村婦人は、果樹の育成栽培にもつと力を注いで行きたい。香長平野を中心に、南国に長く延びた当市は比較的栽培条件に恵まれている様に思われる。

本年度結成された果樹組合婦人部も、単なる形式だけのものでなく、真の婦人組織として果樹育成栽培に努力したいもの。

忙しい私達が参考書をひもどいて行くのはなみたいていでないが、ちよつとした余暇に目を通し、時には講習に参加して、実際に果樹に親しんで行き度いと思う。

広い南国市に度々の講習も無理かと思いますので地区的に集会を開き、少しでも新しい技術や知識を身につけるようにし、県内外の果樹視察にしても、物見遊山でなく、明日をになう果樹栽培の大切な資料として少しでもプラスになるよう研究努力して行き度いもの。

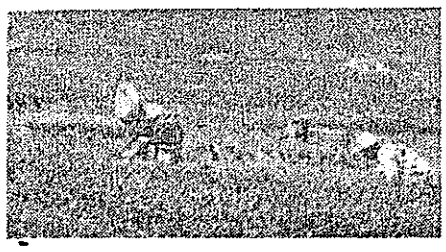
いまさら果樹を、と、おもうかも知れないが、文化生活の向上と共にその需要もきつとふえる事と思われ、部落によつては、果樹栽培に精進され多額の利益を生んでいる様だから、女性の地位向上の上からも、男性に負けない知識と技量とをもつて豊かな農村建設のために果樹育成栽培に力を注ごう。

増量して撒布

県農試と南国農改普及所では、七月下旬、水稲の害虫防除に使うマラソンは、増量（反当五キロくらいまで）して撒布するよう指示した。

これは当時害虫の発生量が多いのと、稲が例年より繁茂しているため、根元まで薬剤がゆきとどかないのが原因となつている。

二番苗とる



綜合開発と香長平野

―3―

浜田春水

（問いに答えて）

前広報に述べてあつた香長平野の不合理性とは一体どんなことか、と質問されたので、若干を解明してお答えしたい。

これはまた重要な問題点でもある。前浜地区がまだ耕地整理をしなかつた前は、大雨毎に大小の水路が溢れて、野面一体は滝を伏せたかのように南へ押流れるのだが常であつた。

それで筆者は村の中央部東西の一線を過ぎて南下する大小すべての水路幅の合計と、これらの吐口の川幅の合計とを比べてみた。

驚いたことには吐口の川幅の合計の方が狭まかつた。これを怪しみもせずに今までは氾濫を嘆じていたものだ。

昭和十八年水系整理と幹線排水路の大改造でこの現象は大体救われた。香長平野の水路幅の関係は果してどうなつているであろうか。

排水は川幅だけの問題ではないにしても通水に無理が隠れば氾濫も起るし、またウオターパツクの現象から他の地帯への影響が絡みつく。

香長平野が根本的に不合理なのは、古来の開拓の水利法が平野上東西に分流していた数条の物部川自然流を利用し、これを用水路に転用したことだ。

本来平野の最低部を追うて流去していたものを、例外もなくみな用水路化され、これを各所で強引に両翼の高い野面へ灌水すべく無理な工作が加えられている。

あたかも寄せ棟の谷を堰上げて、両面の屋根の上へ水を注ぐ仕掛けが平野水利の構成方式となつている。これまた局部氾濫の要因となつているばかりでなく、無用な施設の維持費が伴つてくる。

この堰上げは物部川上下に並ぶ諸堰がその標本であつて、これを平野外に離れて堅固完全に総代理してくれるのが統合堰である。だから平野の内部構造がこれに呼応しないで昔のままに放置されようものなら、統合堰の意義も半減されるばかりでなく、多労多費の解消も生産性の向上も期し難い。

更に憂うべきは、将来の梅雨中氾濫化であつて、既に困つているのが数ケ所も現れた。

香長平野の内部構造を見渡してみると、孰れの水路も多くの堰上げで見る目も痛々しい。

堰床の傍からは野面に深く掘りこまれた導入水路が長々と伸ばされ、遙か下流の底野面にたどりついてからやつと頭を振る。

これから小溝に分岐され、井末は集中豪雨の処理には全く手段なし。

また引水路は水腮ものろく沈泥漏水修理と雑物がまといつく。

堰床は渇水、氾濫共に問題多く、艶間なく投棄される茶の阻塞となる。

この実例を田村井に求めてみよう。

田村井は本来天然の流れ王子川の上流部と田村川の下流部とを用水路に転用したものであつて、現物部川の取水閘から西向に導入水路を開設してこの王子川上流部河跡に連結した。ここから南下する河跡を利用して水路に取直し、下淵にきてから用水路に転用した王子井を南に放ちながら、再び西向に連絡水路を開通し、日章校の北西部で天然流跡田村川に連絡されて今日の田村井が形成されている。

だから開設流と天然流との両相が読みとれる。地形また大河跡の面影を止め、弥生期以来田村郷農耕の養水ともなつた開拓の古い水路である。

（以下次号）